

第9回BOX展作品集

oaca 一般社団法人 日本建築美術工芸協会



最優秀賞 笹岡かおり（一般）《くろいもやもや》

第9回BOX展 開催報告

開催日：2026年6月8日(月)から14日(日)

会場： 建築会館1階ギャラリー(東京・港区)

第9回となる本展には、建築・美術・工芸の領域を横断する計62点(会員30点・一般27点・学生5点)の応募が寄せられました。青森・福島・関東一円・静岡・福井・石川・和歌山・大阪・兵庫・徳島など、全国各地から継続的な参加が続いていることは地域の創作活動と本展が確かな連携を育んできた証といえます。

今回は高校生3名、大学生2名が参加し、aacaの活動が次世代へ広がり始めていることを示しました。協働作業による作品や建築・建材関係者の参加もあり、多分野からの空間創造提案が集う展覧会へと発展しました。

6月8日のオープニングレセプションでは、東條隆郎会長、大草徹也審査委員長、三塩達也展覧会担当理事によるテープカットが執り行われ、華やかに開幕しました。会場では素材の特性を捉えた多様な表現が響き合い、空間創造の場として豊かな風景が広がりました。

13日のギャラリートークでは、作品の意図や葛藤、思想、造形上の工夫、社会情勢を映す表現など、その場でしか聞けない言葉が語られました。終了後には中庭で交流会を開催し、出品者同士のつながりが深まりました。

14日の最終日には表彰式を実施し、大草審査委員長より総評が述べられ、東條会長より表彰状が授与されました。

大成建設株式会社、株式会社竹中工務店、株式会社三菱地所設計、株式会社大林組、株式会社 久米設計、株式会社 佐藤総合計画、株式会社マッツツイ・ジャパン、株式会社エフワンエヌをはじめ、ご協賛各社に深く感謝申し上げます。例年にも増して建築関係企業の方々が足を運んでくださり、会期中には300名を超える来場者を迎え、より広い分野から本展への関心の高まりが感じられる機会となりました。

来年は記念すべき第10回展を迎えます(27年6月予定)。節目にふさわしい展覧会となるよう準備を進めております。文化と芸術性豊かな空間創造を育む場として、より多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。(展覧会委員長 齋藤 卯乃)

■ 審査総評

審査委員長 大草 徹也

日本建築美術工芸協会では、これまでに8回のBOX展が開かれてきました。

この度、過去最多となる62作品の応募があった第9回BOX展の審査委員長として審査に加わる機会を頂きました。

審査委員6名の厳正な審査と協議の結果、最優秀賞1作品、優秀賞2作品、佳作7作品、特別賞1作品、展示会に訪れた方々からの投票によるオーディエンス賞1作品が選ばれました。

30×30×30cmという限られた制約の中で、金属、木、紙、土、石、布、フェルト、プラスチック、羊毛といった多彩な素材とそれに手を加える様々な芸術手法により、それぞれ独自のテーマを追求したコスモロジーが創り上げられており、甲乙つけがたい名作ぞろいとなりました。

また、会期中には作家の皆さまから直接プレゼンテーションを受けることができたギャラリートークや交流会も催され、活況の上に展示会を終えることができました。

来年の第10回BOX展においても、建築・美術・工芸の分野からさらに磨きのかかった作品に出会えることを願っております。

■審査委員

審査委員長

大草 徹也

株式会社三菱地所設計 副社長執行役員
チーフデザインオフィサー

審査委員(五十音順)

尾崎 勝

建築家

中野 恵美子

織造形作家

鳴海 雅人

株式会社 佐藤総合計画 デザインフェロー

森田 高年

森田事務所

山崎 和子

染色造形家



最優秀賞



笹岡 かおり（一般）《くろいもやもや》

フェルト

＜審査講評＞羊毛の中に黒光りするビーズが埋め込まれた黒い球体がブルーのフェルトの上に浮いている作品で、審査員全員の目を惹きました。よく見るとお皿状のフェルトの上端には多くの人が編み込まれており、作者の言う「ニュースを見たり聞いたりする際感じるいたたまれない気持ち」を優しく包み込んでくれています。見る人によって様々な受け止め方ができる作品で審査員全員の合意で最優秀賞に選ばれました。

優秀賞



優秀賞



川口 満（一般）《記憶の風景》

漆 アルミ板 焼きバ 色粉 箔 錫粉

＜審査講評＞錆びた様な金属の複雑な組み合わせから生まれてくる時間の流れとシャープなシルバーと鮮やかな漆の赤が不思議な記憶の風景なのか、緊張感のある世界観が素晴らしい作品です。



寺本 沙香江（会員）《私の時間》

フェルト

＜審査講評＞「私の幸せな時間」を柔らかなフェルトと硬い金属を組み合わせで表現している。瞑想を盛り込んだということだが、内側から湧き上がる感情が伝わる。ことに赤い環が心の中に広がる波動や幸福感を伝えている。



受賞作品

佳作



石黒 美男（一般）《 幻影 》

銅、真鍮、木

＜審査講評＞銅板に槌目を施し、銀メッキと硫化着色で仕上げられた幻の城は太陽系のようにも見えるし、絶妙に配置された3つの大きさの違う真鍮球が多様な生命を育む自然界のエネルギー、あるいは生命(地球も含め)そのものを象徴しているという作家の意図を見事に表わしている。

佳作



小泉 ミレナ（一般）《 つながり 》

紙、ワイヤー

＜審査講評＞この作品はウクライナのドンバス地方の建物の写真を折り板状にして、片側には平和時、そして折れた側には戦争時(砲撃を受けて破壊された)の対照的な姿を一つの形で表すことによって平和の危うさ、大切さを表現している秀作である。

佳作



西藤 悠悟（会員）〔白鳥 翔太・三浦 樹〕

《 知層 》 那智黒石、天竺、ステンレス

＜審査講評＞石をシャープに割った形は、逞しく繊細で、建築的な切れ味をも感じる。バリ島にある「割れ門」の如く、精神的な区切りである。本立てを超え、人類の英知が凝縮され未来へ誘う世界観をも彷彿させる傑作だ。

佳作



重田 恵美子（会員）《 TOMORROW ー生きるー 》

銅板、真鍮板、ステンレス板

＜審査講評＞3・11からのシリーズで明日へ向かって生きる希望を優しく応援して、単なる形にとどまらずに表現が温かく、殻からこぼれ落ちた球体が明日への希望を表現していて完成度の高い作品です。

佳作



鈴木 良一（一般）《 ユフダチキタル 》

椎の木、アルミニウム

＜審査講評＞椎の木からできた優しい雲の造形の下に雨を想起させたアルミの棒が林立した作品で、昨今の異常気象による雷雨をユーモアも込めて優しく表現した作品です。自然現象を具現化して表現するという難しいアプローチながら高い芸術性を感じさせる作品となっています。

佳作



橋本 敏美（一般）《 私の宝箱 My Treasure Box 》

エッグアート

＜審査講評＞ダチョウを始め本物の卵を素材とした、繊細な楕円体の宝箱に、小箱を持つ躍動する空間が納められている。大切なものへの愛に満ちた世界が覗き見えて、その奥行き感が見事である。

佳作



妙川 幸子（一般）《 Shadow 》

大理石、ガラス、タイル

＜審査講評＞何気ない木立の雪景色、単純なドット表現は強度もあり心を打つ。雪国で育ったわたしには、冬の街並みにも見え、しんと静かに迫る郷愁の中に、熱気そして建築に大切な「光と影」をも醸し出し秀逸である。

特別賞



関根 遥香（学生）《 Present 》

石膏取り、銅線

＜審査講評＞時間の重なりを素材の重層で表現。石膏頂部の肌合いを柔らかく変化させて、そこに止まる蝶が、一瞬の輝きを放つ確かな生命体であることを実感させる、若々しい作品となっている。

オーディエンス賞



モリシマ タダフミ（一般）《 親子 》

ベニヤ板、スチレンボード

来場者からの投票で、オーディエンス賞に選ばれました。



青山 友子（一般）《 平行線 手の実験4 》
アクリル絵の具、水性顔料ゲルインキボールペン



青山 莉緒（一般）《 Piping for thorns 》
大理石



阿部 剛士（一般）《 蓄積を梱包し解放 ぶちぶち 》
ミクストメディア



五十嵐 里美（一般）《 collection 》
シルクオーガンジー、刺繍



五十嵐 通代（会員）《 夜の波音 》
綿糸、ポリエステル糸、ステンレス線



池田 嘉文（会員）《 horizon/(平和が訪れる) 》
FRP ステンレス



磯部 洸太（学生）《 おばけ一家 》
陶芸



犬飼 三千子（会員）《 遊ぼう 》
木版画



ウメザワ シュウタ（会員）〔キシノ アヤカ〕
《 原石と円 》 石灰石、ガラス



大河内 久子（会員）《 一期一会 》
木材



大川 雅代（会員）《 ★わたしの風景★ 》
革、金属



岡本 賢（会員）《 おーい 》
陶芸

出品作品



柏尾 栄（会員）《「祝」一華の塔を囲んでー》
陶器



川合 絢也（一般）《flow》
陶 手捻り、石



キシノ アヤカ（会員）〔ウメザワ シュウタ〕
《namiutsu》 廃蛍光灯リサイクルガラス



きたがわ ゆきこ（会員）《The petals unfold》
ステンレスメッシュ、麻布、オーガンジー布、糸



久野 博美（会員）《森へ》
古布、カボック、針金、パッチワーク



熊谷 佐知子（一般）《Jeux d'eau(水の戯れ)》
古布、カボック、針金、パッチワーク



齋藤 卯乃（会員）《未来への兆し》
うるし、麻布、金粉



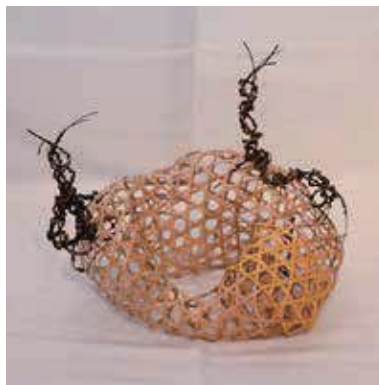
シオカワ ヨウコ（一般）《記憶のともしび》
カシュー塗料 木 枳



品川 未知子（会員）
《輪っ環っわっワッヘイ和ー?!》 刺繍糸 インドサリー糸 ネット



神 まさこ（会員）《無言の種（ムゴンノウチ）》
ミクストメディア



ジン ヨシコ（会員）《角の連動》
籐の皮



スズキ ノリアキ（会員）《My paceマイペース》
チタン



千田 万恵（会員）《 いつか何処からか。 》
ガラス、ハンダ



高崎 真知子（会員）《 雪解けの頃 》
ウール 綿 緩れ織り



高須 好子（会員）《 木洩れ日 》
シルクオーガンジー、より金、より銀



高橋 彩葉（学生）《 さーかす 》
NTラシャ



武田 亜希子（一般）《 星翼 》
石塑粘土・モデリングとカービング



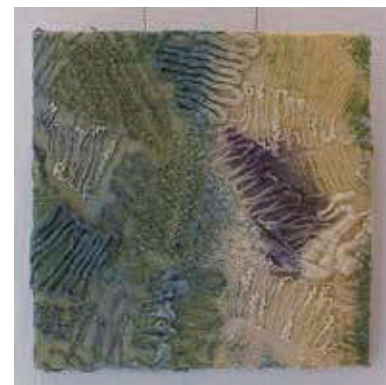
タケムラ ガク（一般）《 緑釉花器 》
粘土をロクロ成形



堤 一彦（会員）《 月を抱く 》
白大理石



中島 敦子（一般）《 3人の「しゅしゅ」が泉を守る 》
漆、木材、麻布、綿ひも、和紙、木質パルプ、金箔



中島 京子（一般）《 糸と遊ぶ 》
羊毛糸、シルクオーガンジー、フリーレースシート



中野 敦子（一般）《 とり 》
日本刺繍 染色(糸)



YUKIE NISHI（会員）《 オマージュ of ガウディ 》
ミクストメディア



波多野 安希（一般）《 宙 》
陶

出品作品



フタツギ ケイコ（会員）
《 Come On-A My House 》 陶芸



フタツギ ヒデアキ（学生）《 怪獣 》
プラスチック他



星野 八千代（一般）《 春のハーモニー 》
絹地 蠟染



前田 花（学生）《 雲の周遊 》
NTラシャ



元川 鳴子（一般）《 端くれのゆめ 》
NTラシャ



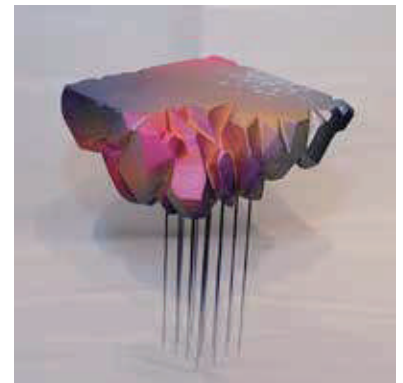
山崎 哲夫（一般）《 深海の化石 》
ブロック材



山下 道子（一般）《 天使の集い 》
神聖幾何学ハレアート



横井 暢彦（会員）《 クレイマイスター 》
粘土、高温還元焼成



横沢 和則（一般）《 9-rara 》
サンモジュール リキテックス 銅線 銀箔



横山 徹（会員）
《 環 ～自然との対話シリーズより～ 》 石・石彫



渡辺 真希子（一般）
《 Parfait Lapin Noir (パルフェ ラパン ノール) 》 布、ビーズ



渡辺 雅夫（会員）《 遠い憧憬—浜辺— 》
木工



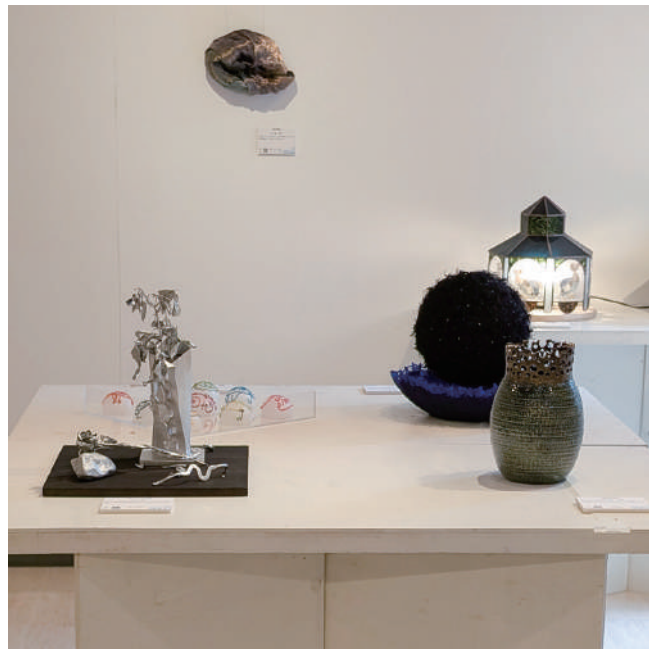
渡辺 雅子（会員）《絆》
陶器 紙



展覧会委員会（会員）《co-creation》
漆、日本刺繍、綴れ織り、木工、設計道具

〔aaca第9回BOX展出品者〕

青山 友子	（一般）	関根 遥香	（学生）
青山 莉緒	（一般）	千田 万恵	（会員）
阿部 剛士	（一般）	高崎 真知子	（会員）
五十嵐 里美	（一般）	高須 好子	（会員）
五十嵐 通代	（会員）	高橋 彩葉	（学生）
池田 嘉文	（会員）	武田 亜希子	（一般）
石黒 美男	（一般）	タケムラ ガク	（一般）
磯部 洸太	（学生）	堤 一彦	（会員）
犬飼 三千子	（会員）	寺本 沙香江	（会員）
ウメザワ シュウタ〔キシノ アヤカ〕	（会員）	中島 敦子	（一般）
大河内 久子	（会員）	中島 京子	（一般）
大川 雅代	（会員）	中野 敦子	（一般）
岡本 賢	（会員）	YUKIE NISHI	（会員）
柏尾 栄	（会員）	橋本 敏美	（一般）
川合 絢也	（一般）	波多野 安希	（一般）
川口 満	（一般）	フタツギ ケイコ	（会員）
キシノ アヤカ〔ウメザワ シュウタ〕	（会員）	フタツギ ヒデアキ	（学生）
きたがわ ゆきこ	（会員）	星野 八千代	（一般）
久野 博美	（会員）	前田 花	（学生）
熊谷 佐知子	（一般）	妙川 幸子	（一般）
小泉 ミレナ	（一般）	元川 鳴子	（一般）
齋藤 卯乃	（会員）	モリシマ タダフミ	（一般）
西藤 悠悟〔白鳥 翔大・三浦 樹〕	（会員）	山崎 哲夫	（一般）
笹岡 かおり	（一般）	山下 道子	（一般）
シオカワ ヨウコ	（一般）	横井 暢彦	（会員）
重田 恵美子	（会員）	横沢 和則	（一般）
品川 未知子	（会員）	横山 徹	（会員）
神 まさこ	（会員）	渡辺 真希子	（一般）
ジン ヨシコ	（会員）	渡辺 雅夫	（会員）
スズキ ノリアキ	（会員）	渡辺 雅子	（会員）
鈴木 良一	（一般）	展覧会委員会	（会員）



aaca
第9回 BOX展
～co-creation～



2026.6.8mon～14sun
11時から18時 最終日15時
建築会館ギャラリー1F (港区芝五丁目26番20号)

● 30cm立方の空間提案
建築・美術・工芸に関わる文化的空間創造へ

● 建築美術工芸作品公募
学生・一般・プロでの異業種協同創作も募集

● 素材形状表現方法自由
空間表現の素材・形状・技法・構成自由自在

未来へ向けての空間創造を募集



aaca第9回BOX展 ～co-creation～

本展は、次の企業よりご支援をいただいております

大成建設株式会社

株式会社竹中工務店

株式会社三菱地所設計

株式会社大林組

株式会社 久米設計

株式会社 佐藤総合計画

株式会社マラッツィ・ジャパン

株式会社エフワンエヌ

株式会社クサカベ

クラフトII

光ステンド工房

期間中のイベント:

6月8日(月) オープニングレセプション

6月13日(土) ギャラリートーク・交流会

6月14日(日) 授賞式



発行日 2026年8月30日
発行 一般社団法人 日本建築美術工芸協会
〒108-0014
東京都港区5-26-20 建築会館6階
TEL 03-3457-7998
FAX 03-3457-1598
URL <https://www.aacajp.com>
E-mail info@aacajp.com

編集 展覧会委員会
担当理事 三塩 達也
アドバイザー 山極 裕史
委員長 齋藤 卯乃
副委員長 高須 好子
委員 石垣 健
犬飼 三千子
高崎 真知子
渡辺 雅夫

aqca